



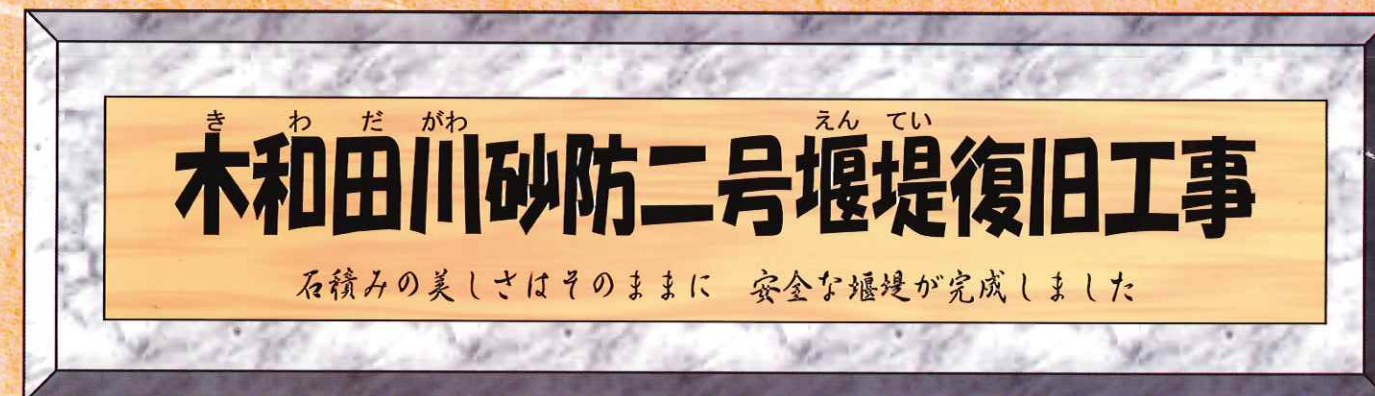
お問い合わせ先

静岡県島田土木事務所

〒427-0019 静岡県島田市道悦5丁目7番1号

TEL 0547-37-5272 (企画検査課)

TEL 0547-37-1086 (工事第二課)



平成16年度 災害・復旧事業 優秀賞

静岡県島田土木事務所

木和田川砂防二号堰堤

当時の木和田川堰堤

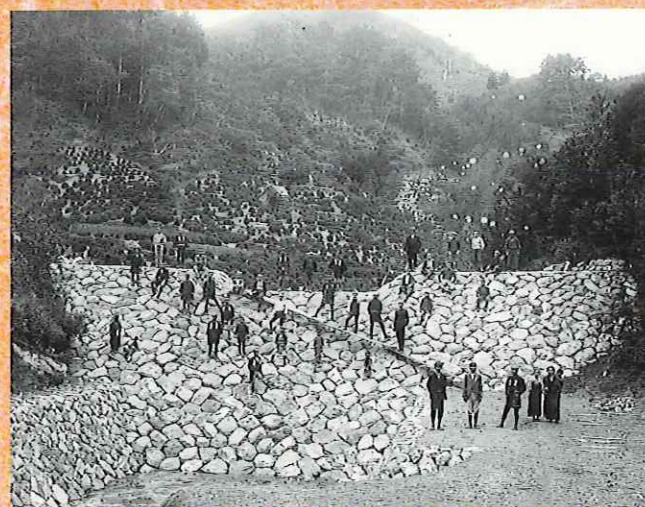
明治43年8月の豪雨によって木和田の奥山は大崩壊し、押し出された土砂のため田畑の流失埋没は十五町歩に及び、木和田の谷川は累々たる砂礫の原と化し、古来稀なる惨害を蒙りました。

瀬戸川水系の溪流木和田川の下流一号から上流約1.2kmの区間に、大小8基の石積砂防堰堤がある。その工法は、明治中期に技術指導で日本に招かれたオランダ人ヨハネ・デレーケが直接指導されたもので、その形から「兜堰堤」として親しまれています。

石集めは、地元住民に山地の採石を自由に与え、背負子（ショイコ）・櫓（ソリ）で人や馬により行い、石積は、周辺の石工を多く集めて行われました。

『静岡県の近代化遺産』より

明治43年8月 東京帝国大学に地質調査の依頼
明治44年1月 志太郡崩壊に関する諸調査
明治44年3月20日 砂防指定地に指定
明治44年7月から8月にわたり再度豪雨の襲来
大正3年 砂防事業完了



建設された当時（大正3年）の二号堰堤

木和田川現状

木和田川の砂防施設は、木和田砂防環境整備事業と鶯の細道公園整備事業が一体となり整備され、砂防学習ゾーンとして歴史的価値を見学する者や、ここに訪れる人々に、憩いと自然への親しみを与えています。



また、地元有志の会「横添ふるさと会」による施設周辺の清掃・草刈りなどの維持管理やイベントの開催、観光案内などが行われています。

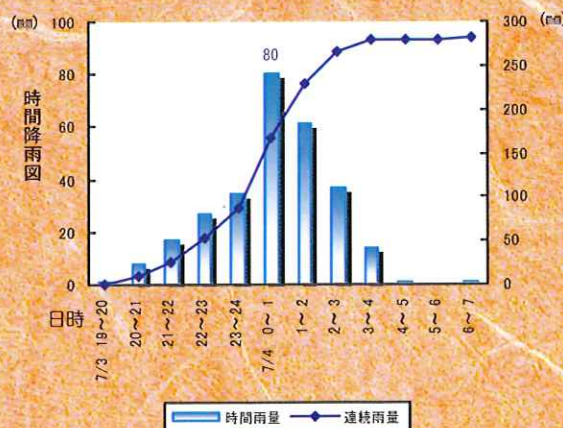
平成14年には、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として砂防堰堤8基、流路工2基が、登録有形文化財※として登録されました。

※登録有形文化財とは、建築後50年を経過した歴史的価値のある建造物で、登録することにより文化財を活用しながら保存することができます。

災害

平成15年7月3日から4日にかけての豪雨のより木和田川流域に短時間に降雨が集中しました。

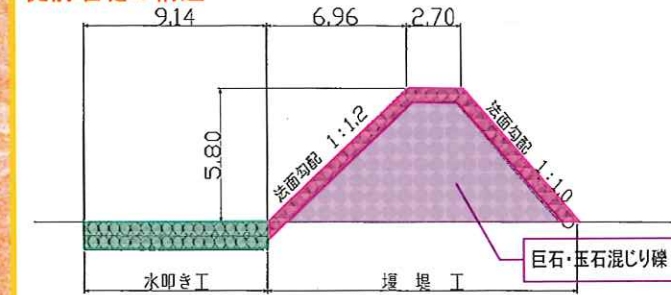
この集中豪雨により、木和田川砂防二号堰堤が崩壊し、今回の復元復旧工事となりました。



設計図

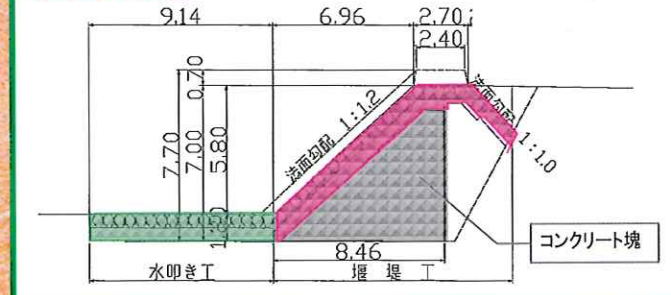


従前堰堤の構造



復元しました

新堰堤の構造



- ↓ 堰堤の内部はコンクリート堰堤で施工しました。
- ↓ 崩壊を免れた石積みの石は50cmメッシュの墨出しを行い管理し、同位置に復元しました。
- ↓ 流れ出た石は出来るだけ下流から拾い出して使用しています。
- ↓ 正面の石にはアンカーを設けて、コンクリート堰堤と一体化しています。
- ↓ 水叩き部は厚さ60cmのコンクリートの基礎の上に従前の石を同位置に復元して、強固な構造にしました。

復旧工事の様子

被災直後



堆積した土砂を排除



コンクリート堰堤工事



石積みの施工・完了

